



週刊

新宿新聞

THE SHINJUKU SHINBUN

購読料6ヵ月4,000円、毎月5の日発行、創刊63周年 電話3369-6195 FAX3369-0759 (郵政12月4日第3種郵便物認可)

主なニュース

- 2面 新宿3大シネコンが他地域を圧倒!
- 3面 都議選・小池新党が自民を脅かす
- 16面 熱気再び/花園神社例大祭(27~29日)
- 6面 歯と口の健康週間(6月4日~10日)
- 9面 渋谷防犯協会が6月に創立70周年

インバウンドが店舗売上をけん引する高島屋(中央右)



新宿の百貨店とディスカウントストア

中国人の「爆買い」、需要が消えてから1年。今年に入り百貨店の免税売上は好転している。昨年インバウンド失速が経営陣の刷新にも繋がった三越伊勢丹HD。その基幹店でもある伊勢丹新宿本店は、4月の免税売上は前年比9%増と回復している。一方、バスタ、ミライナタワー竣工効果で堅調な伸びをみせた新宿南口の高島屋新宿店は、この4月の免税売上ではさらに伸び、店舗全体の売上に占める免税割合は何と19%にも達した。もともと免税売上比率が2割に比べ低かった西口の百貨店は伸び率では圧倒。小田急百貨店は4月の免税売上は3割増、インバウンドにこれまで力を入れてこなかった京王百貨店は高級ブランドを取り込む改装をして免税売上は前年の2倍増の伸びをみせた。

高島屋

免税割合が19%(4月に)

「宝飾品」も伸び「客単価」が上昇

この1年、百貨店の免税売上は「客単価」が伸びたことに加え、インバウンドが落ち込んだことでも伸びた。三越伊勢丹HDは経営不振から大西社長が辞任、4月からは杉江俊彦・新社長が生まれ直している。

取り組むこととなった。伊勢丹新宿本店では、ファッションの強みを活かす従来のスタンスに変え、宝飾品・高級ブランドなどの売上が落ち込み、化粧品などの低額商品に需要が移っている傾向に変わりはないが13年の婦人服売場改装時からの影響が縮小。今年4月は客単価が伸びた。

新宿東口 メンズファッション店を新設

コメ兵モア5番街の5フロアに

爆買い需要が消え10年した「渋谷公園通り店」のグループ全体の売上(約5百20平方メートル)も3割増と伸びた。このうち、コメ兵は新築ビルに引っ越して、10日、新たな中型ファッションビル「ANNEX」を新設する。コメ兵は、ファッションビル「ANNEX」を新設する。コメ兵は、ファッションビル「ANNEX」を新設する。



コメ兵初のメンズファッション店(モア5番街)

爆買いが消えた

「免税売上」伸びる

高島屋6%、小田急30%、伊勢丹9%の伸び



爆買い需要が消え10年した「渋谷公園通り店」のグループ全体の売上(約5百20平方メートル)も3割増と伸びた。このうち、コメ兵は新築ビルに引っ越して、10日、新たな中型ファッションビル「ANNEX」を新設する。コメ兵は、ファッションビル「ANNEX」を新設する。

爆買い需要が消え10年した「渋谷公園通り店」のグループ全体の売上(約5百20平方メートル)も3割増と伸びた。このうち、コメ兵は新築ビルに引っ越して、10日、新たな中型ファッションビル「ANNEX」を新設する。コメ兵は、ファッションビル「ANNEX」を新設する。

訪日外国人(アジアの比較) ※各年4月

爆買い需要が消え10年した「渋谷公園通り店」のグループ全体の売上(約5百20平方メートル)も3割増と伸びた。このうち、コメ兵は新築ビルに引っ越して、10日、新たな中型ファッションビル「ANNEX」を新設する。コメ兵は、ファッションビル「ANNEX」を新設する。

爆買い需要が消え10年した「渋谷公園通り店」のグループ全体の売上(約5百20平方メートル)も3割増と伸びた。このうち、コメ兵は新築ビルに引っ越して、10日、新たな中型ファッションビル「ANNEX」を新設する。コメ兵は、ファッションビル「ANNEX」を新設する。

抄読み

問題で「安全安心」と小池都知事はいう。その二、自民党は「安全は科学的基準に基づいて、安心は人々の主観である」と反論する。「リスタがゼロでない」と安心しない、ゼロリスクを批判する専門家もいる。どこか原発論争に似ていないか? 要は「リスクを限りなくゼロに近づける安心対策」が求められるというところだ。国の原子力安全委員会は「津波を想定して電源を確保できる安全対策、活断層の上にある場合の地震の起きる確率」などを計算して安全性を算出する。さらに「住民避難の確保がとれて、初めて住民は安心を得るのだ」とこれを「愚問」に置き換えて言えは、ベンゼンが基準の百倍、ほかシアミなど危険物質が土壌の中に眠っている。これらに対しては「コンクリートや特殊シートなどで遮断される。食物がじかに触れることはない。だから安全だ」と言っているにすぎない。これでは真の「安心」は得られない。もし、大地震が起きて液状化によって地下から化学物質が噴出したらどうなるのか? コストばかりに目が向けられている今日、「安心」を得るためには限りなく「安全度」を高めなくては、「都民の安心・安全」は、決して手に入らない。